

JICAの研修員から各国の学校生活について話を聞く児童＝母子小学校

名前【 】

英語でJICA研修員と交流



母子小 ガーナなどの6人訪問

日本の情報通信技術（ICT）の活用方法を学ぶため日本を訪れているコートジボワールやガーナなどの行政職員が25日、母子小学校（三田市母子）を訪問した。1～6年の16人は英語で会話したり、昼食を食べたりして交流を深めた。

母子小では十数年前から英語を授業に取り入れている。児童に外国人と会話し、異文化を体験する機会をもつてもらうと、国際協力機構（JICA）に協力を依頼した。

この日は、JICAの研修員として今日10日に来日した6人が訪問した。5、

6年の授業では、子どもたちが各国の小学校生活について英語で質問。ガーナやグレナダでは、授業の合間に昼寝をしていると聞いた子どもたちは驚いていた。

給食後、全校児童が集まり、研修員と折り紙を楽しんだ。

だ。尾を引く張ると羽ばたく鶴の折り方を英語で伝え、一緒に作った。

バン格拉デシュの政府職員モハマド・アリ・ノウズ・ラッセルさん(40)は「折り紙や授業など、子どもたちとの交流は大事な思い出になった」と笑顔。6年の今北莉彩さん(11)は「一人それぞれ発音が違って、聞き取ることが難しかった。でも、英語でのコミュニケーションは楽しいなと感じました」と話した。（門田晋一）

- ① JICA の読み方を先生に教えてもらいましょう。また日本語では何というのでしょうか。記事の中から見つけましょう。

JICA の読み方

JICA を日本語で

- ② 25日に母子小学校を訪問したコートジボワールやガーナなどの行政職員は、何を学ぶために日本を訪れているのですか？

- ③ この記事を読んで、コートジボワールとガーナの人以外に、どこの国の人が母子小学校を訪れたことがわかりますか。

- ④ モハマド・アリ・ノウズ・ラッセルさんはどんなことが「大事な思い出になった」と話していますか。

NIEワークシート／小学校／国語、生活、総合、朝NIE